

GOVERNOR'S

Monthly Letter VOL.3



Rotary International
District 2800
2011-2012



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011
September

ガバナー
月信

9



国際ロータリー第2800地区【2011-2012年度】

ガバナー 細谷 伸夫 RI会長 カルヤン・パネルジー RI会長エレクト 田中 作次 RI理事 近藤 雅臣

継 続 —繰り返すではなく進化を—



2011-2012年度
国際ロータリー
第2800地区

ガバナー

細谷 伸夫
(山形西RC)

カルヤン・パネルジーRI会長エレクトは強調事項の一つに「継続」を掲げます。ロータリーは人に役立つ事、良い事をして来ました。ポリオ撲滅運動、識字率向上、水問題、疾病予防等々。しかし、これらは短期間で実現するものではありません。良い事は続けて行かなければなりません。小さな事でも継続することにより大きな力となるのです。人道的奉仕で最も大切なことは続けることであることは申すまでもありません。しかし同じ事を繰り返しているのはどうでしょうか。

行動の停滞化の原因の一つとして「前例主義」「事なかれ主義」そして「マニュアル依存症」があります。作家の荻野アンナは「大震災 欲と仁義」の中で、東日本大震災で義援物資や義援金が被災者に届かないのは、「組織が非常時であっても、平常時と同じシステムで動き続ける」からで、「このままだと、21世紀の日本人はシステムの中で判断停止に陥った人たちだと言われかねない」と言っています。

継続とは繋ぐことを意味しますから、過去を未来に繋ぐことでありますので、継続するには過去にやって来た良い事をよく知ると同時に、現在継続するに値するかを検証した上、現在において継続することによって当該事実が未来へ如何なる展望を持ちうるかを考えなければなりません。

継続は単に過去の事実を繰り返すことを意味するのではなく、過去の歴史、文化の上に立ちつつ

将来を見据え新たな一歩を歩み始めることであります。

京都の老舗の料理店の話で、何百年と続く老舗の味を引き継ぐのが新しい主人の役割であるが、そこに自分なりの新しい一味を加えることにより老舗の味を生き生きと継いでいくことができる、という趣旨の話をしておりました。

何百年以上も続く伝統の味は、将来を見据えて自分なりの新しい隠し味を加味することにより時代に添った味となり、伝統の味を引き立たせ、老舗の味を守ることとなるのだろうと感じました。ただ単に昔の味をそのまま漫然と繰り返しては、何年も続かなかつたであらう。

時代は動いています。それに気付かず、又気づく努力もしない。かかる店は厳しい運命にあります。ロータリークラブも同じと思います。

人道的奉仕も社会奉仕も時代のニーズを調査し、検証しながら、将来への展望を持ちつつ今求められているのは何かを的確に把握して実行しなければなりません。

例えば識字率にしても、地域の人々の能力の向上に合わせてその方法を変えていかなければならないのです。そうすればロータリーの奉仕活動は社会より受け入れられ、多くの喜びの顔に出会うことになります。

ロータリーは社会に生きるものです。社会と共に歩まなくてはなりません。

稲盛和夫氏は「継続と反復は違います」と言っています。

良い事を、役に経つ事を継続するには過去の上に立ち、将来に向けて社会と共に進化しなくてはならないと思います。

社会奉仕セミナー報告



社会奉仕委員会
委員長

村山 征彦
(天童東RC)

7月23日午後3時から山形グランドホテルに於いて、6月までガバナーの要職にあった塚原初男直前ガバナーを講師に迎え、「国際森林年・地球は今・・・」のテーマのもと、地区内会長・幹事、社会奉仕委員長、地区役員等129名と大勢の参加をいただき、社会奉仕セミナーを開催いたしました。

今年度、地区社会奉仕委員会の事業の一つに、国際森林年の今年、森林の持続可能な循環型資源を活用し、守り育て、如何にして地球環境との調和を図るか、私たちロータリアンになにができるか勉強しようと提案しております。アマゾンの熱帯雨林は「地球の肺」といわれております。私たちの身近にも里山や鎮守の森などそれぞれの「肺」があります。その肺が今病んでおります。皆さんが手を差し伸べるのを待っています。

塚原初男直前ガバナーは講演のなかで、国際森林年の位置づけについて、1992年の国連環境開発会議（地球サミット）において、森林の保全と持続可能な経営、生物多様性の保全、地球温暖化の防止、砂漠化の防止等の環境保全問題が議題となり、2006年の国連総会で2011年度を、

森林に対する世界の市民の理解と参加を目的とした国際森林年にすることを決定したことや、世界の森林面積の変化、日本における森林資源の推移、木材供給量の推移、森林・林業の再生改革等現状と今後の課題について話されました。又、我が国における国際森林年の取組については、豊かな森林を守り育てていくこと、またそのために国民一人一人が具体的に行動することが重要との理解を深め、効果的な事業活動の取組を展開することを啓蒙し、世界のためには海外植林活動支援、国際交流推進、日本の次世代のためには森林・林業再生プランの推進、民間企業等との連携による森林づくり活動の推進、森と海とのコラボレーションの推進、森を守り生物多様性を守る活動支援、国産材を含む森林・木材への認識の向上等々重点的に進めるたたき台を提案されました。講演の最後に、ご自身の体験をもとに、山形県の林業事業の過去・現在・そして未来について熱く語られました。

講師は、農学博士であり森林・林業関係の指導者として幅広い活躍、経験に基づいた話、委員会として初期の目的を十分果たしたと感謝申し上げます。

このセミナー受講を契機に、各クラブでも環境保全や保護活動に関する事業を計画していることと存じますが、今年は国際森林年であることに思いをよせ活動して下されば幸いです。又、事業計画がないクラブでは、この機会に個人や家族、会社で里山や森の環境の保全に興味を持っていただき、行動していただくことをご期待申し上げます。

終わりに、セミナー開催にご指導いただいた武田和夫カウンセラーと三澤副幹事を始め、ガバナー事務所のスタッフ、委員会メンバーのご協力に感謝申し上げます。



ロータリー財団セミナー



パストガバナー
野川 桂一

ロータリー財団というと、私たちの身近に感じられないもののように思われがちですが、私たちの寄付金の集約場な訳で、これを原資にして世界に慈善をしているものであります。さらに理解を深めるために、そのルーツを辿ってみましょう。

次の文章は2004～05年R I 会長グレン・エステス氏がロータリーの友に、メッセージとして寄稿したものです。

26ドル50セントから始まった

ロータリー財団は、元R I 会長アーチ・ブランクの夢から始まりました。1917年に彼は「世界中でいいことを行う」ために寄付による基金を提案しました。しかしながら、彼の熱心さにもかかわらず、このアイデアは直ぐには実行に移されませんでした。最初の寄付は、カンザスシティRC(米)から総額26ドル50セントというささやかなものでした。1947年ロータリーの創始者ポール・ハリスが亡くなった年から、彼の偉業を記念してロータリアン達は多額の寄付をするようになりました。それ以来、ロータリー



財団は166か国でのプロジェクトに米貨14億ドル以上を給付しています。

ポリオ撲滅は偉大な業績

多分、ロータリーの第一世紀の最も偉大な業績はポリオ・プラスでしょう。8月に私はインドのデリーで開催されたR Iのポリオ・サミットに出席しました。そこには1,300人を超えるロータリアンを始め、保険担当官、大統領を含む政府のリーダー達がバングラデシュ、インド、ネパール、パキスタンにおけるポリオ撲滅の最後の詰めを調整するために集いました。流行性疾患の専門家たちは、インドは2004年の終わりまでにポリオウイルスの伝染を止めるめどがついたと報告しています。ポリオが永久に撲滅されるのは時間の問題です。財団と私たちの地球規模の保険問題のパートナー達に感謝します。ポリオ・プラスは世界中の子供たちへの、私たちからの永遠の遺産となることでしょう。

参考

ロータリー財団の使命：ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界平和、親善、平和を達成できるようにすること。(2007年規定審議会採用されました。07-116)

標語：Doing Good in the World 世界でよいことをしよう(アーチ・ブランクがロータリー財団設立の時に述べた言葉です。)



国際ロータリー第2800地区

「未来の夢計画」準備委員会並びにロータリー財団セミナーについて



国際ロータリー第2800地区
ロータリー財団委員長

池田 徳博

ロータリー財団は、「未来の夢計画」を掲げ、大きく変わろうとしています。その中心的なものは、「新地区補助金」制度です。これまで、皆様からいただいた、年次寄付（お一人100ドルないし120ドル）は、3年の運用の後、その50%がDDF（地区財団活動資金、約800万円）として、また残りの50%がWF（国際財団活動資金、約800万円）として、使用されてきました。そして、DDFの20%、つまり、3年前の年次寄付額の10%が地区補助金として、2800地区の各クラブの申請に基づいて、人道的プログラムに使われて来たもので、その額は、およそ160万円でした。

新地区補助金制度では、そのほとんどが、国際的人道的プログラムについての使用ということになります。もっとも、地区補助金額は、DDFの50%（約400万円）に引き上げられます。また、新地区補助金制度では、グローバル補助金として、DDFの残りの50%を次の6つの分野でのみ使用することができます。①平和と紛争予防／紛争解決、②疾病予防と治療、③母子の健康、④水と衛生設備、⑤基礎教育、識字率向上、⑥経済開発と地域開発、といったものです。

さて、ロータリー財団には、もう一つ大きな課題があります。「2億ドルチャレンジ」です。ポリオへの取り組みは、ロータリー財団の大きな目標です。しかし、この「2億ドルチャレンジ」の達成のためには、各クラブが、2009年から3年間、1年につき2000ドルを寄付する必要があります。各クラブでのご判断になりますが、お一人、120ドルをお願いしている現状では、さらに、2000ドルの要請には躊躇を覚えます。そこで、地区としては、DDFの残額（これまで、使い切れ

ないでいたもの）の中から、一定額を寄付することによって、ロータリー財団からの要請に応じて行きたいと考えています。

さて、ロータリー・カードの普及にもご協力下さい。2800地区では、各クラブ3枚をお願い致してきました。この目標は、ほぼ達成しました（5月末現在で164枚）。ところが、全体の目標枚数が、5000枚から1万枚に引き上げられました。そこで皆様には、さらに、各クラブ3枚のお申込みをお願い致します。ご使用額の0.3%がWFへの寄付となりますが、間もなく、東日本大震災復興基金への寄付となる予定です。

東日本大震災については、ロータリー財団では、復興基金を設立しました。この基金へは、各クラブ、個人が自由にご寄付いただけます。この寄付は、一旦、エバンストンに行きますが、直ちに、復興基金委員会に送金され、各補助金申請に基づき、申請から約1か月以内に、申請地区に交付される予定です。DDFと併せて、現在300万ドルが集まっています。寄付の方法は、後ほど、各クラブに用紙をお送り致します。また、地区では、マッチング・グラントを使い、1560地区（オランダ）とともに、郡山南ロータリークラブに、11万5千ドルを寄贈しています。この資金は、放射線量測定器90台の購入に充てられます。

新制度については、「未来の夢計画準備委員会」での検討を重ね、皆様にご理解いただきやすいように、ご案内を重ねて行きたいと考えています。本日が第1回目としての勉強会を開始しました。2013-2014年度からのスタートではありますが、実際は、2012年の7月から手続きが開始されます。

以上



ガバナー公式訪問 — 細谷ガバナー行脚 —

2011年 7月11日(月)

鶴岡西ロータリークラブ

本間 光廣 会長 井上 直子 幹事

クラブテーマ

ロータリアンの絆を深めよう

7月11日、細谷ガバナーの公式訪問を受けました。「会長、幹事」面談では清野ガバナー補佐ともども私も同年代ということもあり、親しみをもって面談させていただきました。後々、考えてみますと、初対面でも打ち解けて対等にお話できる、これぞロータリアンの良さとして再認識したしだいです。

海外も含めた広い視野と見識に立った、各クラブでの例会の違い、また今後のあり方等ガバナーの話には同席した幹事ともども共感することが多

くありました。

予算書を見ながらのご指導も受け、その後、ガバナーの意に沿った修正を行いました。また「継続」は、「反復」にあらずとか、今期R Iテーマを分かりやすく解説いただき、今期方針に対して一層理解を深めることができました。

続く例会におきましても、緊張感の中にも和気あいあいとした良き例会となったと思います。訪問いただきましたガバナーはじめ3名の皆様に感謝申し上げます、ご報告といたします。



2011年 7月13日(水)

酒田ロータリークラブ

浅井 多一 会長 阿蘇 伸 幹事

クラブテーマ

思いやりの心で地域を見つめ、 広げよう奉仕の輪を！

7月13日、第1ブロックのトップを切って、細谷ガバナー、守屋ガバナー補佐、晋道地区副幹事をお迎え、公式訪問が開催されました。

当クラブ会員には、R Iテーマに込められた意味を分かり易く説明され、今、自分がなぜロータリアンなのかを考えさせられました。

又、R I会長の思いを私たちに届け、Pハリスがロータリーを創設された意義を教えてくださいました。

さらにはロータリーバッジに込められた「誇り」の重さをも再確認させていただきました。

- ・正しいことをするのがロータリアンである。
- ・誇りとは、自分に課せられた仕事を全うすることです。

素晴らしい言葉です。

酒田ロータリークラブは、細谷年度に絶大なる期待を致しますと同時に第1ブロックを通じ、ガバナーと共に活動をしていきたいと考えます。

この度は、適切にご指導ご鞭撻に感謝申し上げます、報告と致します。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —

前門の虫歯 後門の歯周病 白戸歯科医院

院長 白戸 勝芳

酒田市飛鳥字大道端148-2
TEL. 0234-52-3011 FAX. 52-3051
k-siroto@crest.ocn.ne.jp

未来に羽ばたく鉄のパイオニア 有限会社 守屋鉄工所

代表取締役社長 守屋 文夫

酒田市大宮町2-2-9
TEL. 0234-26-3631 FAX. 26-3645
moriya@atlas.plala.or.jp

2011年 7月19日(火)

酒田スワンロータリークラブ

白戸 勝芳 会長 佐藤 道子 幹事

クラブテーマ

**特徴あるクラブ運営を目指して
全員でレベルアップを計りましょう**

細谷伸夫ガバナーによる第2回目の公式訪問が当クラブで行われた。午前11時から守屋ガバナー補佐、尾形地区幹事立会いの元、会長幹事会が開かれ、主に当クラブの年次計画書についてご指導や意見交換を行い、有意義な時間を共有した。12時30分から例会となり、細谷ガバナーより30分の卓話をいただいた。その中心は「思いやりの心」を持つために必要な事柄を6項目述べ、それを嚆

み砕いて説明された。説得力のある話に会員一同、耳を澄ませて聞き入っていた。

卓話の前に、ちょっとしたサプライズがありました。このことは皆さんも公式訪問で体験してください。最後に、これから数ヶ月に亘って行われる公式訪問が恙なく完了されることをご祈念いたします。



2011年 7月22日(金)

山形東ロータリークラブ

中川 善雄 会長 白田 廣司 幹事

クラブテーマ

**自然と共生・
家庭・継続(健康)・発展**

我が山形東ロータリークラブに細谷伸夫ガバナー、坂部登ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を行いました。

クラブ協議会にもご出席を頂き、中川会長の方針に基づき、各委員長より活動計画を公表致しました。

坂部ガバナー補佐より講評を頂き、「計画の内容はしっかりしているので、確実に実行するように」と締め括って頂きました。

例会では、ガバナーより、地区目標の「思いやりの心を育て、広めよう」について、詳しく、熱

く話して頂きました。

会長・幹事会においても、社会奉仕活動について、ご指導を頂き、今後のクラブ運営に役立てていきたいと思えます。

また、今年度、日本大地震における復興支援活動も、クラブとして何か出来る事を実行して欲しいとのガバナーよりお話を頂き、他クラブとも力を合わせ、実行していきたいと思えます。

大変有意義な公式訪問例会を行う事が出来、ありがとうございました。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —

荘内証券

酒田 鶴岡 山形 新庄 本荘 横手

— 新しい都市造りに洗練された技術で歩む —

社団法人 日本サッシ協会正会員



株式会社 日東軽金

取締役社長 佐藤 悌夫

本社・工場 酒田市東町1丁目13番地の9 TEL 0234-7111(代)
支店 秋田・山形・鶴岡・仙台

2011年 7月26日(火)

遊佐ロータリークラブ

渡会 弘善 会長 川俣 利夫 幹事

クラブテーマ

新しい仲間を
思いやりの心で増やそう

遊佐ロータリークラブは41年の歴史がありながら今年度11名で出発しました。当クラブにとって「会員増強」がここ数年、最大の課題として捉え、各年度の会長さんを中心に努力してまいりました。この度、細谷伸夫ガバナーの公式訪問を受け、会員増強を中心にご指導を賜った

◎「ロータリーは何をしてくれるか」ではなく「ロータリーの為に何が出来るか」という視点。

- ◎「思いやりの心」を日常生活の中で実現する。
- ◎「経済的な問題」をクリアーするアイデア。
- ◎ロータリーの種々の活動を連動させた視点。つまり、目に見える奉仕活動は最高の広報活動であり会員増強につながるという視点。
- ◎社会のニーズが何であるかを求めて、知恵とアイデアと実行力によって実現する。などを中心に会員で話し合い会員増強に努めたい。



2011年 7月27日(水)

酒田湊ロータリークラブ

庄司 豊 会長 真垣 政春 幹事

クラブテーマ

クラブで育って行動しよう
思いやりの心に満ちて

7月27日(水)、細谷ガバナーと守屋ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問がありました。

R I 会長のテーマ及び細谷ガバナーのテーマについてお話を頂きました。

また、東日本大震災の被災地のロータリークラブで会員が増えているクラブがあり、それは復興の奉仕活動をやっている姿をみた人が、自分も入会したいと会員になったと説明がありました。

例会前の会長幹事会でガバナーに、湊クラブの

特長のひとつが環境図書の小学校への寄贈であるとお答えしました。ガバナーからは、その活動をいかに多くの人達に認知してもらえるか、ちょっと手を加え形を代えることでその活動がより大きな広がりを持つのではないかと助言もあり、広報の大切さを認識させて頂くことが出来ました。さらなる活動に、繋げていきたいと思いました。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —

がんばろう東北!



国際ロータリー第2800地区
酒田中央ロータリークラブ

ネットワーク・フットワーク・チームワーク
25年の歴史を一つ心に



国際ロータリー第2800地区
酒田中央ロータリークラブ

2011年 7月28日(木)

酒田東ロータリークラブ

川嶋 努 会長 三谷美重子 幹事

クラブテーマ

奉仕活動の独自性

細谷ガバナー新年度を迎えて、酒田東ロータリークラブには7月28日公式訪問をしていただきました。

例会では蓮の花をイメージして作られた今年度のテーマ幕「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」の趣旨のお話をいただきました。

例会前の会長・幹事との懇談会ではクラブの特徴を尋ねられました。

良い点は年齢層が幅広くロータリー暦の長短に

かかわらず和気藹々としている事改善すべき点は会員増強が課題であることをお話させていただきました。

今年度、活動計画については、親睦も大事ですが、社会奉仕、新世代、国際奉仕各委員会が中心となり智恵と工夫により独自性のあるクラブ創り社会奉仕・職業奉仕を積極的に行い、ロータリーの存在意義を地域社会に情報発信すべきとの助言をいただきました。



2011年 8月9日(火)

余目ロータリークラブ

保科 一彦 会長 澤井 真人 幹事

クラブテーマ

思いやりの心を持って広めよう

ガバナー公式訪問が、8月9日 細谷ガバナー、清野ガバナー補佐、佐藤副幹事のご出席のもとに行われました。

例会前の会長、幹事との懇談会では、当クラブのロータリー活動、運営に関し有意義な意見交換をすることが出来ました。

会長・幹事会、クラブ例会で今期の細谷ガバナーが強調された事項は以下のとおりでした。

地区目標の「思いやりの心を持って広めよう」を理念としたロータリー活動にするには、多様な面での活動、意識が必要である。

我々会員はロータリー活動をもう一度勉強し

直しましょう。

充実した活動と広報が出席率の向上、会員増強につながります。

相手の気持を思いやり、相手の話を良く聞き、相手の期待に応えるようにする。

例会時間の変更、家族例会、各種フォーラムの開催等々。

皆が楽しいクラブにしましょう。

以上、今後のクラブ運営に大変示唆に富んだお話をいただきました。ありがとうございました。



そっくりな似顔絵ラベルのお酒
ありがとうございました。



— 東日本大震災からの一日も早い復興を祈念して —

公共空間に新しい形を創る

株式会社 **クラフト** CRAFT Corporation

代表取締役社長 **武田 元裕**

本社・工場 〒999-3245 山形県上山市川口字五反田850-1
TEL 023-677-0520 FAX 023-677-0522
盛岡 019-637-2505 首都圏 042-548-0307

本社工場 庄内支店 工場

ラベルパワー
それは、伝える力。
SHINWA LABEL

最新の技術と確かな実績でお客様のニーズにお応えします。

小容量で、大きな力。 シール・ラベルはデジタルプリント

ラベルパワー 進和ラベル印刷株式会社

〒999-3104 山形県上山市蔵王の森10番地
TEL 023-672-7577 FAX 023-673-2019
ホームページ / <http://www.shinwalabel.com>

我々の クラブ活動紹介

「知的障害者フロア ホッケー大会」の開催

鶴岡南ロータリークラブ会長 長谷川 正

「第2回知的障害者を選手とするフロアホッケー大会プロジェクト」が、5月29日に鶴岡市小真木原総合体育館で行われました。この大会は鶴岡南ロータリークラブが企画し、昨年同様に市



内の知的障害者福祉施設各団体と実行委員会を立ち上げ、今年度は市内各施設から8チームがエントリーされ、関係者を含め138名の参加協力を頂き開催されました。

上記大会（通称・第2回鶴岡南ロータリー杯）は、フロアホッケー大会を通じて、障害者の方々がスポーツで楽しみや喜びを感じ、多くの人々との交流を通して人生に挑戦する気持ちが芽生えればと思うものです。

まだ、2回目と歩き始めたばかりのプロジェクトですが、確実に地域社会に浸透しつつあると感じております。また、障害がありながらも一生懸命プレーする選手の皆様には感動と勇気を頂きました。



※今回より各ロータリークラブの活動を御紹介したいと思います。ぜひどしどし御提供下さい。

11月新世代フォーラムご案内

新世代奉仕委員長 佐藤 孝子

主旨

今年度の国際ロータリーのテーマは「心の中を見つめよう、博愛を広げるために」、地区のテーマは「思いやりの心を育て、広めよう」であります。共に、「心」「思いやり」が、今年度のキーワードの一つであります。

当2800地区は、今年度より新世代奉仕委員会を新しく立ち上げ、これまで社会奉仕・国際奉仕等の委員会で行っていた新世代、青少年に関する事業を一本化したしました。これは、組織を事業に沿った分かりやすい形に整える事、そしてなにより、混沌とする社会において、次代を担う世代が、希望と夢をもって生き、活躍できるようにお手伝いすることが、私たちロータリアンの、大人の責務であると考えたからであります。

そこで下記の要項にそって、広く諸団体の後援を戴き、ロータリー関係者（ロータリアン・RAC・IACなど）のみならず、一般市民の皆様にもご参加を戴き、未曾有の大震災のもと、改めて新しい世代への期待を込めて、フォーラムを開催するものであります。

要項

1. 開催日時：平成23年11月5日（土）13時30分
2. 開催場所：山形市 市民会館 大ホール
3. 演 劇：食育子どもミュージカル「どんでん森は、どつきどき」県立置賜農業高校 演劇部
4. 講演会：「震災と日本人」
講 師 山折 哲雄 氏
5. 対 象 者：一般市民の方々およびロータリー関係者
6. 後援団体：地方公共団体（山形県、山形市ほか）、商工会議所、教育委員会（山形県、山形市ほか）
PTA関係、弁護士会、マスコミ関係（以上、予定）以上

がんばろう東北!!

地区内クラブ支援活動

東日本大震災復興支援

委員長 塚原 初男

ブロック	クラブ名	支援実施内容	ブロック	クラブ名	支援実施内容
1	遊 佐	義援金を送金した	5	山形東	5/20 復興活動している陸上自衛隊に慰問（石巻運動公園） 7/末 復興活動している陸上自衛隊に慰問（石巻運動公園）
2	鶴岡西	4/30 石黒PGの呼びかけで鶴岡市校長会で集められたランドセル1200個と、マスク1万枚、ウォーターサバイバルボックス10個を2520地区桑原PGへ会員3名で届けた。	6	米 沢	3/27 米沢牛差し入れ（仙台市宮城野区） 5/21 ガレキ撤去（福島県南相馬市鹿島）、 6/4、6/25ガレキ撤去 5/3 側溝のヘドロ除去（宮城県亘理町） 5/7 カップメン・缶詰・飲料・シュレッダー等物資の支援（宮城県気仙沼市） 3/27～5/27 アクティ米沢にて避難所に物資受渡
	鶴岡東	3/16 2800地区へ義援金35,000円送金 6月 鶴岡市へ義援金15万円寄託予定		米沢上杉	3/14 クラブとして東日本大震災への対応について危機管理プロジェクト委員会を招集し協議した。家族に被災者はいないか、クラブで活動すべきこと、事業所で困っていることなどを検討し、義援金も呼びかけている。
	鶴岡南	3/24 義援金を2800地区へ10万円送金		米沢中央	4/7 姉妹クラブの白河西RC例会に訪問し、見舞金を届けた。 2011年11月5日に予定の創立25周年記念例会の記念事業として、7/11に「春風亭小朝トーク&コンサート」に米沢市内に避難している被災者100名を招待する計画
3	天 童	4/8 避難者160名へいも煮うどんの炊き出し		米 沢 おしょうしな	5/16 避難者へ段ボール製簡易テーブル贈呈 5/16 山形イブニングRC、南陽臨雲RC、米沢おしょうしなRCで3RC合同例会にて義援金を募った（「がんばろう東北被災者を支援しよう」をテーマに）
	東 根	4月～6月 2800地区への義援金		長 井	山形新聞社に10万円義援金、2800地区に会員各位より義援金、台湾3460地区よりキャベツ4.2tを岩手県へ。
	天童東	5/6 姉妹都市である多賀城市に天童市を通して50万円 5/6 12名のメンバーで炊き出し（焼きそば600食、玉こんにゃく1000玉、お茶400、アイス200）		小 国	3/30 夕食の炊き出し（小国町内避難所） 6月も夕食の炊き出しを計画している（小国町内避難所にて） 5/1 町内観光（バスツアー）への協力、 5/18夕食の炊き出し
	村 山	2800地区へ義援金協力	長井中央	20周年記念式典は中止になったが、記念事業の一つとして義援金を送った。	
	最 上	避難している被災者へ20万円の寄付			
4	寒河江	4/11 須賀川RC例会場にて義援金20万円贈呈)			
	河 北	義援金を送金した（12万3千円）			
5	山 辺	4/7 友好クラブ日立中央RCへ義援金50万円			
	上 山	3/17 義援米として10俵を友好クラブの名取市と名取クラブへ。（上山市役所内支援センターへ持参） 名取クラブ会員をゆっくり体を休められるよう温泉へ招待したい。			

※この報告以外にも多くのRC、RC会員が被災者支援活動を展開しているようです。

2月号の表紙写真を再募集します

ロータリーの友委員 伊藤 義彦

2011-12年度『ロータリーの友』表紙に掲載する写真が決定しました。審査の総評と結果は、残念ながら、2月号に該当するものがありませんでした。つきましては、同号の表紙写真を再募集いたします。

- ① テーマ 日本の今を切り取る
- ② 締め切り 9月30日
- ③ 点数 1人3点まで
- ④ サイズ 紙焼き四つ切り（または、それに近いサイズも可）
- ⑤ 添付資料 名前、クラブ、連絡先住所・電話・ファックス、撮影場所、撮影年月、撮影のデータ（カメラ名、使用レンズ〔ミリ〕、露出、シャッター速度）
- ⑥ 送付先 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル4階 一般社団法人ロータリーの友事務所

- ⑦ 審査員 岡井耀毅氏（元『アサヒカメラ』編集長・現『友』表紙解説者）、ロータリーの友常任委員ほか。
- ⑧ その他
 - ・表紙のサイズに合わせトリミングをする場合があります。
 - ・写真の上にタイトルその他の文字がかかる場合があります。
 - ・採用作品は掲載時に、ネガフィルム、ポジフィルム、デジタルカメラの場合はデータが必要になります。
 - ・掲載に際し、賞金ならびに掲載料等の支払いはいたしません。
 - ・採用作品の著作権は撮影者に帰属。
「ロータリーの友」は、印刷物（『ロータリーの友』、『友』英語版、その他）ならびにウェブサイトへの掲載、展示などの使用权を、保有します。
 - ・応募作品の返却はいたしません。



第21回インターアクト年次大会を終えて



インターアクト小委員長
佐藤 宏一

地球で生きる一人として

「今、わたしたちにできること」をテーマにして

2011年8月2日 ホスト校 九里学園高等学校

インターアクトクラブ、米沢 伝国の杜で行われました。鶴岡東、羽黒、鶴岡中央、山本学園、南陽、山形電波工業高等学校2800地区の7インターアクトクラブの参加でした。

- ① 記念講演では元海外青年協力隊の九里学園高等学校教諭 鈴木 精氏の「ザンビアでの貴重な活動が報告されました。」
- ② ワークショップ1（カカオ農園の子どもたち）
考えてみよう—「カカオ農園の子どもたちのためにできること」を題にしてグループごとに意見交換して結論をまとめて発表でした。
- ③ ワークショップ2（自分たち国際協力アクションプラン）各学校ごとにどんなアクションができるかの発表でした。

今回の年次大会は私にとっても大変勉強になりました。記念講演の鈴木先生のザンビアでの生活慣習のちがいもあり苦勞、苦勞の続きのなかでの、あきらめない、協力奉仕の体験談は感動、感動でした。

ワークショップ1で・・・日本は、チョコレートの原料となるカカオの7割をアフリカのガーナから輸入していますが、農園で働く子ども達のなかには、チョコレートを見たことも食べたこともないという子がいます。その子にチョコレートを食べさせた方がよいかどうかの問題が提起され、グループごとにその理由と共に発表。正解はないのですが、実に考えさせられる時間

でした。

また、カカオ農園で働く子ども達の生活を改善するための取り組みとして、9つの方法がありますその行動の順位を私達も考えてみましょう。
A・カカオ農園で働く人々の収入が増えるようにチョコレートをたくさん買う。
B・カカオ農園の子供達が十分な教育を受けられるよう、学校を建てたり、教材や文具を送ったりする。
C・テレビや新聞などを通じて、より多くの人にカカオ農園で働く子供達の問題を伝える。
D・貧しい子供達の生活改善のために活動しているユニセフの募金に協力する。
E・ガーナの人々が、カカオ産業に頼らずに収入を得られるよう、新たな産業の技術者を育てる支援をする。
F・家族や友人など、身近な人と「貧しさ」や「国際協力」について話す。
G・値段が多少高くても、現地の生産者に十分な対価を支払ってカカオを買っている会社のチョコレートを選んで買う。
H・カカオの貿易や、カカオ農園で働く人々の現状を知る。
I・ガーナの貧しい人々に、食料、衣類、医薬品などの援助物資を送る。

地球で生きる一人として・・・ なにができるか・・・

日本で66年前被爆した一人の少女、かじやま楮山ヒロ子の日記に恐るべき原爆を世に訴える願いが、広島原爆ドームを壊さないで世界遺産になったように。



藍綬褒章
受賞



大友 恒則君
所属クラブ：米沢中央RC
職業分類：自動車学校

パストガバナーで米山中央RC会員の太友恒則君が永年にわたり調停委員として公益に奉仕してこられた御功績により「藍綬褒章」を受賞されました。

米山
功勞者



鈴木 征治君
所属クラブ：高島RC
職業分類：財団法人理事長

ポールハリスフェロー



尾形 亨君
所属クラブ：山形西RC
職業分類：不動産管理



小松久兵衛君
所属クラブ：山形西RC
職業分類：平版印刷



武田 周治君
所属クラブ：山形西RC
職業分類：機械加工



細谷 伸夫君
所属クラブ：山形西RC
職業分類：民事弁護士



富樫 幸吉君
所属クラブ：余目RC
職業分類：自動車整備

新入会員の紹介



横手 幸三君
所属クラブ：米沢RC
入会日：2011.7.14
職業分類：ホテル



増村 力君
所属クラブ：米沢RC
入会日：2011.7.14
職業分類：機械配布



豊野 宏司君
所属クラブ：米沢RC
入会日：2011.7.14
職業分類：機械設計・製作



小野 欣也君
所属クラブ：川西ダリアRC
入会日：2011.7.7
職業分類：生損保代理店



後藤 智樹君
所属クラブ：寒河江RC
入会日：2011.8.4
職業分類：運送業



本間 透修君
所属クラブ：酒田東RC
入会日：2011.7.7
職業分類：旅行斡旋業



小野 浩二君
所属クラブ：長井RC
入会日：2011.7.12
職業分類：電力業



高田 元君
所属クラブ：山形西RC
入会日：2011.7.25
職業分類：小児歯科医

ご逝去

ご冥福をお祈りします



山辺ロータリークラブ
三浦 光男氏
2011.8.20 享年69歳

記載もれがありましたら、ガバナー事務所までお知らせ下さい。

クラブ会員数／出席率

ブロック	No.	クラブ名	2011.7.1 会員数	内女性 会員数	2011.7.31 会員数	内女性 会員数	年初からの増減数		7月 出席率	年初からの 平均出席率
							増	減		
第1ブロック	1	酒田	38	3	38	3			83.57	
	2	酒田東	32	3	34	3	2		92.24	
	3	遊佐	11	0	11	0			81.85	
	4	酒田中央	38	0	38	0			87.10	
	5	酒田スワン	17	6	16	5		1	100.00	
	6	酒田湊	17	2	17	2			97.06	
第2ブロック	7	鶴岡	37	5	37	5			86.49	
	8	鶴岡西	33	4	33	4			92.23	
	9	余目	26	0	26	0			100.00	
	10	立川	16	0	16	0			84.37	
	11	鶴岡東	36	1	36	1			81.00	
	12	鶴岡南	23	4	23	4			78.13	
第3ブロック	13	天童	42	1	43	1	1		95.22	
	14	東根	36	0	38	0	2		84.25	
	15	天童東	48	0	48	0			72.00	
	16	天童西	20	0	20	0			98.33	
	17	東根中央	37	1	37	1			86.00	
	18	村山	14	0	13	0		1	98.21	
	19	新庄	19	2	20	2	1		85.99	
	20	尾花沢	18	0	18	0			83.34	
	21	最上	20	1	20	1	1	1	76.32	
	22	尾花沢中央	16	0	16	0			93.75	
	23	村山ローズ	21	5	21	5			69.80	
	24	新庄あじさい	20	0	20	0			91.67	
第4ブロック	25	寒河江	49	0	49	0			87.20	
	26	大江	20	1	20	1			98.75	
	27	河北	30	0	30	0			89.30	
	28	寒河江さくらんぼ	34	2	34	2			92.43	
	29	西川月山	16	1	16	1			85.94	
第5ブロック	30	山形	86	0	87	0	1		98.05	
	31	山形北	70	0	71	0	1		99.17	
	32	山辺	28	0	28	0			96.30	
	33	山形南	53	1	54	2	1		99.48	
	34	中山	15	0	15	0			80.00	
	35	山形西	99	0	99	0	1	1	88.32	
	36	上山	11	0	11	0			93.18	
	37	山形東	38	0	38	0			95.72	
	38	山形中央	36	4	36	4			81.16	
	39	山形イブニング	30	0	30	0			82.76	
	第6ブロック	40	米沢	43	6	46	6	3		90.10
41		米沢上杉	45	2	47	2	2		98.94	
42		高島	48	3	48	3			80.73	
43		米沢中央	36	4	36	4			98.61	
44		米沢おしょうしな	28	1	28	1			91.67	
45		川西ダリア	9	0	10	0	1		77.50	
46		長井	34	1	34	1	1	1	94.86	
47		南陽	20	4	20	4			90.00	
48		白鷹	17	0	17	0			97.08	
49		小国	16	0	16	0			85.94	
50		南陽東	42	0	43	0	1		72.18	
51		長井中央	20	0	20	0			96.25	
52		南陽臨雲	30	1	30	1			63.33	
合 計			1638	69	1652	69	19	5	88.54	

日曜日	地区行事
9/1 木	【新庄】
2 金	
3 土	第1回 諮問委員会 酒田中央RC25周年記念式典
4 日	
5 月	【米沢おしょうしな】
6 火	
7 水	【尾花沢・尾花沢中央】
8 木	【鶴岡南】
9 金	
10 土	ガバナーエレクト事務所開所式(南陽)
11 日	第2回 東日本大震災復興支援委員会
12 月	
13 火	【寒河江さくらんぼ】
14 水	
15 木	
16 金	
17 土	
18 日	
19 月	敬老の日
20 火	
21 水	【新庄あじさい】
22 木	【寒河江】
23 金	秋分の日
24 土	
25 日	
26 月	
27 火	【大江】
28 水	【南陽】
29 木	【米沢】
30 金	
10/1 土	ロータリー情報研修セミナー(山形市ビッグウイング) / 第3ブロックインターシティーミーティング(天童東RC)
2 日	尾花沢中央RC20周年記念式典
3 月	【南陽臨雲】
4 火	
5 水	【西川月山】
6 木	
7 金	
8 土	第6ブロックインターシティーミーティング (米沢おしょうしなRC会場・米沢市伝国の杜・上杉城史苑)
9 日	
10 月	体育の日

GOVERNOR'S Monthly Letter

9 2011. September 月の地区スケジュール

山形探訪 Yamagata Tanbou



会田算左衛門安明

(山形市小荷駄町)

会田安明は延享4年(1749)2月10日に羽州山形七日町の会田重兵衛の子として生まれた。郷土山形の生んだ偉大な人物の一人である。その学業は、関流の算書や必伝書を手し、それらを逐一吟味・検討することから始った。そして、批判・研究を重ねた結果、多数の著書にみるように不定方程式・対数表・重量算術・零約術・幾何学的諸問題など、広範囲にわたり、多くの創意を示した。

この胸像は山形ロータリークラブ創立30周年を記念して山形市立図書館前庭に建立されたものである。これにより多くの市民に彼の偉業を再認識し永く業績を称えるモニュメントとなっている。

山形ロータリー寄贈

山形市内7RC寄贈の
モニュメントを順次紹介いたします。



国際ロータリー第2800地区
2011-2012年度ガバナー

ガバナー事務所

〒990-0041 山形県山形市緑町1-9-30 緑町会館3F
TEL.023-674-9777 FAX.023-674-9778

細谷 伸夫

【今回の表紙】

山形市文化振興課協力
山寺芭蕉記念館観宝亭

【写真撮影】松村スタジオ